



鹿児島県



第2号

令和7年12月発行

幼児教育センターだよい

幼保小の架け橋プログラムの推進に向けて！

文部科学省では、幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向け、5歳児から小学1年生までの2年間のカリキュラムを、地域の幼児教育施設や小学校等の関係者が協働して開発・実施等に取り組む『幼保小の架け橋プログラム』を推進しています。

『幼保小の架け橋プログラム』に取り組んでいる地域では、「学校生活で主体性を發揮する子どもが増えた」「思いやりをもって友達と関わる子どもが増えた」「子どもの学習意欲が向上した」「登校しぶりが減少した」などの効果が報告されています。



【幼児教育と小学校教育の特徴を理解しよう！！】

架け橋プログラムを推進していくため、まずは、幼児教育施設や小学校等の関係者が幼児教育と小学校教育の特徴を理解することが大切です。

「鹿児島県幼保小接続ガイドライン」（県教育委員会作成）では、幼児教育と小学校教育の違いは以下のように整理されています。

【5つの領域】

- ・健康・環境
- ・人間関係
- ・言葉・表現

遊びや生活の中で、この5つの領域が相互に作用し合いながら日常の保育が進められます。

	幼児教育	小学校教育
教育の目標	「感じる」「気付く」「考える」「工夫する」「興味をもつ」「関わる」等の経験を重視	「～ができるようになる」「～が分かるようになる」等の目標への到達度を重視
教育の方法等	遊びを通した総合的な指導	各教科等の目標・内容に沿って選択された教材による授業
要領・指針	(幼稚園教育要領等) <u>5つの領域</u> からなる 「ねらい」と「内容」 	(小学校学習指導要領) 各教科等における 目標及び内容

幼児教育と小学校教育の円滑な接続のための参考資料～幼児教育と小学校教育がつながるってどういうこと？～（文部科学省）を基に作成

【ポイント】

架け橋期（5歳児～1年生の2年間）で、子どもたちの学びの環境は大きく変化します。

幼児期は、幼児が自発的・主体的に人やものと関わりながら、遊びを通して必要な能力や態度を獲得していく時期です。このため、幼児教育では、「遊びを通した学び」を大切にしています。

一方、小学校教育は、教科ごとの学習が中心で、それぞれの教科で学ぶべき到達目標があります。時間割や日課表、指導計画などを基に計画的に学習が進められます。

では、「幼保小の架け橋プログラム」の推進に向けどのような取組が考えられるか、具体例を紹介します。

◎ 幼児・児童間の交流

幼児教育施設の幼児が近隣の小学校で児童との交流を行います。新1年生の体験入学や、地域の特色を生かした行事など、幼児が小学校の雰囲気を実際に味わったり、お互いに顔を合わせて交流することで、進学への期待感を高めたり、不安を取り除いたりすることができます。子どもたちが関わる様子を見る際には、校区や市町村がめざす子ども像をお互いに共有しておきましょう。



◎ 保育者・教師間の交流

多くの市町村で幼保小合同での研修会・協議会が実施されています。幼児教育施設と小学校の先生が対面し、自園・自校の子どもの様子などを共有したり、今後の保育・教育活動について共に考えたりすることで、相互理解を深めています。

また、お互いの保育・授業の様子を参観することも、保育・教育の違いや子どもの発達段階について知る機会となっています。園では幼児が遊びを通してどのような学びを重ねているのか、小学校では幼児期の遊びを通して学びを踏まえてどのように教育活動を展開しているのかを実際に見ることでお互いの保育・教育の特徴を理解することができます。



特に小学校の生活科の授業は、幼児教育とのつながりが多いため、幼児教育施設の先生方が参観することで、小学校教育との接続を実感することができます。



『幼保小の架け橋プログラム』を推進するための第一歩として、幼児教育施設と小学校の先生がそれぞれの子どもの様子を実際に知り、理解することが大切です。お互いが気軽に話し合えるよう、地域の現状に応じてできる交流からスタートしてみましょう。そこからそれぞれの地域で特色のある「架け橋期のカリキュラム」を作成し、架け橋期の学びがつながるように実践を進めていきましょう。



幼児教育センターでは、幼児教育アドバイザーを派遣し、県内各地の「幼保小の架け橋プログラム」の推進に向けた助言を行っています。「小学校とどのように交流をスタートすればいいかアドバイスが欲しい」など、様々なご相談に対応しますので、お気軽にお問い合わせください。

電話：099-286-2089 FAX：099-286-5561
メール：ikusei@pref.kagoshima.lg.jp



こちらの二次元コードを読み取ると、鹿児島県幼児教育センターのホームページを確認することができます。↑